令和2年度混成団訓練検閲

編成完結報告をする佐藤連隊長

第47普通科連隊が受閲

中部方面混成団（団長　芝　伸彦　1等陸佐）は、第47普通科連隊（連隊長　佐藤　篤　1等陸佐）に対し、令和2年6月22日から23日にかけて海田市駐屯地で訓練管理検閲を、同年7月2日から7月10日にかけて海田市駐屯地及び日本原演習場で計画作成に引き続く実動行動を検した。

新型コロナウィルス感染症拡大を受け、即応予備自衛官招集訓練が一部中止になる中、6月以降の訓練再開を受け、第47普通科連隊所属の即応予備自衛官のうち約140名が本訓練検閲に参加した。

日本原演習場における訓練開始式で、統裁官である混成団長は「各級指揮官は、自己の位置を常に考えながら指揮の要訣を実践せよ。各隊員は、基本・基礎はもとより、フォロワーシップを発揮して、指揮官をしっかりと補佐せよ。」と訓示した。

実動検閲は、7月5日の海田市駐屯地からの車両移動に引き続き、30キロメートルの徒歩行進、敵警戒部隊の駆逐、第一線陣地への攻撃、連隊目標への攻撃を4夜5日の連続状況下で実施、最終日9日には連隊目標を奪取、任務を完遂して訓練検閲の状況を終了した。

状況終了後、統裁官である混成団長からは、更に強い連隊を目指す上で練成の余地はあるが、常即一体となった粘り強さは見事であったと労をねぎらった。

かけはし

MACB

MACB
QRコード

【編集・発刊】

中部方面混成団
本部広報室

〒520-0002
滋賀県大津市
際川１－１－１

℡077-523-0034

【団長要望事項】
強くなれ

第47普通科連隊検閲写真　常即一体となり任務を完遂！

訓練管理検閲実施状況

連隊ＣＰＸにおける作戦会議

訓練開始式における統裁官訓示

徒歩行進訓練

前方を警戒する即応予備自衛官

連隊長による戦闘指導

患者受け入れ準備

第一線救護

突撃支援射撃

攻撃掩護射撃

敵第一線陣地への攻撃

総評・優秀隊員表彰

第49普通科連隊

団訓練検閲
対抗部隊等として参加、併せて徒歩行進訓練を実施

第49普通科連隊（連隊長　関谷　拓郎　1等陸佐）は令和2年7月3日から11日にかけて日本原演習場で混成団訓練検閲における対抗部隊等として参加した。

第4中隊を基幹として編成された対抗部隊は、堅固な防御陣地を構築し、防御戦闘及び逆襲を行い第47普通科連隊と対峙した。

また、補助官、審判、通信、救護、炊事等の要員を統裁部で行動させ、整斉円滑な検閲統裁に大きく寄与した。

さらに、4日から5日にかけて検閲受閲部隊の徒歩行進にあわせた訓練を行い、練度の維持・向上を図った。

防御戦闘

対機甲戦闘

防御陣地の構築

連隊徒歩行進訓練

徒歩行進

情報小隊による経路偵察

統裁支援

統裁通信勤務

炊　事

令和2年度中隊長等集合訓練

中隊長に必要な隊務運営能力の向上を目的に実施

課題発表と討議

混成団は、令和2年7月21日から22日にかけて大津駐屯地で令和2年度中隊長等集合訓練を実施した。

訓練は、普通科連隊及び教育部隊の中隊長等に対し、団長企図の徹底を図るとともに、職務遂行に必要な識能を付与することを目的として行われ、訓練初日には気温30度を越える厳しい条件の下、8.5キロメートルの持続走に引き続き障害通過運動に挑戦。午後からは中隊の課題と取り組み等について討議を行った。夜には団長を取り囲んでの懇親会が行われ、楽しい一刻を過ごしたが、終杯と同時に戦術・服務課題が付与され、「翌日に発表出来るよう準備せよ。」と指示された。

集合訓練の最後に行われた団長訓練では「中隊長は現場に身を置け。」「隊員の苦労を理解せよ。」「いつ、いかなる状況においても冷静に判断し、部隊を任務達成に導けるよう精進せよ。」と述べ、本訓練を締めくくった。

８．５km走

８．５km走に引き続き行われた障害走

混成団長訓話

第4陸曹教育隊

第5期陸曹中級課程総合訓練

山地潜入前進開始

約5日間の総合訓練を実施

第４陸曹教育隊（隊長　長谷部　浩司２等陸佐）は、令和２年８月23日から27日の間、あいば野演習場及び長池演習場において第５期陸曹中級課程総合訓練を実施した。

訓練は、小銃小隊長等としての実員指揮能力の向上及びチームワークを醸成するとともに、任務完遂の達成感を付与することを目的としており、前段訓練では全行程約30キロメートルの徒歩行進、敵第一線陣地への攻撃、後段訓練で山地潜入からの重要目標の攻撃が行われた。

高温多湿という厳しい気象条件の中にあって、困難な任務に立ち向かった学生達は小隊長、小隊陸曹、分隊長等の役職におけるそれぞれの役割を積極果敢に遂行し、強固なチームワークを醸成して訓練を終了した。

敵第一線陣地への攻撃

敵陣地へ前進

敵装甲戦闘車への攻撃

山地潜入

進路の指示をする小隊長

急峻な経路を前進

重要目標の攻撃

敵を警戒しつつ重要目標を確認

敵車両を制圧

自衛隊をもっと身近に！

サマーキャンプin大津駐屯地

背のうや防弾チョッキ、鉄帽の着用体験

検温を済ませ受付へ

初めて袖を通した迷彩服

隊員食堂での体験喫食

AEDを使用して救急法体験

コンパスを使って目標に前進

自衛隊の基本「敬礼」を体験

自衛隊入隊意欲の向上に寄与

大津駐屯地は令和2年8月6日から7日の間、10コの地方協力本部との連携の下、高校生を主体とした募集対象者69名が参加する「サマーキャンプin大津駐屯地」を開催した。

本行事は様々な訓練体験や1泊の隊内生活を通して自衛隊に対する理解を深め、募集に寄与することを目的としており、中部方面隊の募集施策である「募集広報の日」の一環として行われた。

参加者達は、隊員食堂での喫食、迷彩服や帽子等の着用、救急法、コンパス等を使用した行進、基本教練等を行うとともに、迫力のある格闘訓練展示の見学や体験試乗も行った。参加者からは、「迷彩服を着れて自衛官に近づくことができてうれしかった。」「コンパス行進が楽しかった。」「もっと他の体験もしてみたくなった。」等の感想や、「自衛隊に入隊したい。」等の自衛隊入隊意欲の高い声を多数聞くことができた。

さらに現役自衛官との交流や懇談を通じて自衛隊を身近に感じさせるとともに、自衛隊に志願する意欲の向上を図り、本行事を終了した。

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
124回	80回	10分57秒	合格

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
92回	93回	10分12秒	合格

めざせNo.1戦士！　混成団ナンバーワン戦士紹介 MACB No.1

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
83回	83回	11分24秒	合格

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
60回	63回	11分38秒	合格

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
54回	100回	12分15秒	合格

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
53回	73回	14分02秒	合格

腕立て伏せ	腹筋	3000m走	救技に直結する体力検定
49回	80回	13分31秒	合格